

東日本大震災復興サークル 「ネクスト」

代表 経営学部4年 金 裕太

顧問 経営学部 李 東勲

〈サークル沿革〉

平成23年6月頃から、3名が活動を開始

NPO団体(フェアトレード東北)と連携してボランティア活動に取り組み、平成23年7月12日に正式にボランティアサークル「ネクスト」を設立、現在のメンバー約30名

平成24年3月 石巻専修大学奨励団体賞受賞

〈活動の趣旨〉

石巻専修大学がある石巻市は震災で大きな被害を受け、私たちの学生生活も大きな影響を受けた。東日本大震災の被害から一日でも早く復興できるよう、そして少しでも暮らしやすくなるように、ネクストを立ち上げた。石巻専修大学災害ボランティアサークル「ネクスト」は市民の皆さんと協力しながら精一杯頑張っていきます。

〈活動内容〉

平成23年

7月~10月:「炊き出し」、「配給物資の配布」

11月から:石巻市内の大街道地区を中心とした在宅被災者のアセスメント調査を実施し、1,200件のデータを集計した。さらに渡波・稲井地区の在宅被災者アセスメント調査を実施している。

〈アセスメント調査〉

在宅被災者は仮設住宅に入居した被災者に比べ、行政やボランティア団体などによる支援の手が届きにく

く、同じ被災者の間で支援に格差が生じているとされている。そこで、在宅被災者の実態を把握するため、アセスメント調査を行っている。

〈調査結果〉

格差の実態がデータとして明らかになってきた。それに加え、各世帯がそれぞれに問題を抱えていることがわかってきた。フェアトレード東北と協力して調査結果を整理し、石巻市の担当部局に提出する予定である。

〈今後の目標〉

- ・アセスメント調査の集計をさらに進めるとともに、他のボランティア団体が行っていない分野の支援活動を行いたい。
- ・サークルのメンバーを増やし、地域に密着した活動を行っていききたい。



▲鹿妻南2丁目での配給物資の配布①
(H23/07/02)



▲鹿妻南2丁目での配給物資の配布②



▲仮設水押球場団地での配給物資の配布
(H23/07/24)



▲鹿妻南2丁目での配給物資の配布③

1 大学の動き
(平成23年4月)

2 震災に関する
研究活動

3 大学施設の地域
催事への提供

4 震災の影響に関す
る全学調査結果

5 防災・減災のための
備蓄品調達状況

6 震災に関する
取り組み
インタビューによる紹介

7 震災2年目における
委員会等の活動と
本学の対応

8 阪神・東海に学ぶ

9 学内に結成された
ボランティア
サークルの活動